

# 令和元年度 岩手県立大船渡東高等学校経営計画

校長： 川 村 俊 彦

1 現状把握及び将来展望		児童生徒	保護者	地域住民	企業・進路先
	(1) 学校に対するニーズ	①進路実現に向けた指導 ②興味深くわかる授業 ③活発な部活動	①安心安全な学校生活 ②進路目標の実現 ③授業及び実習を通しての人間形成	①地域産業の担い手育成 ②人的・物的教育財産の活用	①総合的専門高校として地域に貢献できる人材育成
	(2) パートナーとの関係	①信頼関係に基づく教育活動 ②主体性を尊重した指導	①情報発信による教育活動への理解とPTA活動や学校行事を通じた連携強化	①情報発信による教育活動への理解と関係強化	①定期的情報交換 ②産官学の地域連携
(3) 学校に影響を与える変化	①少子化にともなう生徒数の減少。教育活動の人的、予算的減少への対応 ②グローバル化、科学技術の発達に伴う、社会構造の変化 ③気仙地域の復興の進捗状況				
2	校訓・教育目標	専門教育・人間教育を実践し、地域・時代を支える自立した人間を育成する学校			
3 目指す学校像	(1) 今年度の重点目標	重点目標	達成指標		
		ア 「アウトプット=行動変容」をテーマにした教育活動の展開 ・学力向上 ・授業力向上	・大船渡東「授業スタンダード」を実践している生徒の割合【80%】 ・大船渡東「授業スタンダード」を基に指導している教員【90%】 ・大船渡東「伝えるスタンダード」を実践している教員【80%】 ・大船渡東「書くことスタンダード」を実践している教員【80%】 ・家庭学習時間 2時間以上【8%】、1時間未満【45%以下】		
		イ 安全・安心で自分を表現できる環境の構築	・いじめなど相談できる環境にあると感じる生徒・保護者【90%】 ・心のケアに適切に対応していると感じる生徒・保護者【90%】		
		ウ 自分の良さに気づき、自らを成長させるとともに、他者を支援することのできる生徒の育成	・自分には良いところがあると思う生徒【70%】 ・困っている人を助けることができる生徒【90%】 ・チャレンジ1を実践した生徒【80%】		
		エ 生徒の可能性を広げるキャリア教育の充実	・様々な力がついたと感じる生徒【90%】 ・信頼でき魅力的な学校だと感じる保護者【90%】		
		オ 資質・能力の育成と学校評価を連動させたPDCAに基づいた教育活動	・学校評価項目を意識して教育活動を行った教員の割合【90%】 ・教育方針や学校の様子について、わかりやすく伝えていると感じる保護者【80%】		
	(2) 取組方針	ア 「アウトプット=行動変容」をテーマにした教育活動の展開 (ア) 「大船渡東スタンダード」をもとに、礼儀正しい言動とコミュニケーション能力の向上を目指す (イ) 「書くことは考えることである」をテーマに、書く教育活動を充実させる (ウ) 課題を提示し、家庭学習時間の伸長を図る (エ) 授業互見、授業評価、各種診断の分析を通し、PDCAに基づいた授業改善を行う イ 安全・安心で自分を表現できる環境の構築 (ア) いじめアンケート調査や教育相談体制の充実をはかり、問題の早期発見・解決を図る (イ) 「大船渡東スタンダード」をもとに、他者理解の心を育て、互いを認め合う学校文化の育成に努める ウ 自分の良さに気づき自らを成長させるとともに、他者を支援することのできる生徒の育成 (ア) 「東高祭で3000人を集めよう」をテーマに学科間の連携と生徒の主体性を育成する (イ) 全校生徒によるチャレンジ1の実践 (ウ) いわたの復興スクールを利用した復興人材の育成 エ 生徒の可能性を広げるキャリア教育の充実 (ア) 専門高校生意見体験発表文の全校生徒作成 (イ) 気仙地区高校の参加協力を得るなど、課題研究発表会の充実を図る (ウ) 就職支援員との連携によるきめ細やかな就職指導 (エ) ジョブカフェとの連携による企業ガイダンスの実施 オ 資質・能力の育成と学校評価を連動させたPDCAに基づいた教育活動 (ア) 教育重点項目と学校評価の一体化、見える化を図り、教育実践の充実を図る (イ) 学校経営計画の職員への浸透と保護者・生徒の理解を図る			

